

受付番号：2017-1-322

課題名：肝内・肝外胆管癌における vasohibin-2 発現の意義と臨床病理学的因子との関連について

### 1. 研究の対象

当院において 2007 年～2016 年に肝門部胆管癌、もしくは肝内胆管癌の診断で手術を受けた方

### 2. 研究目的・方法

本学腫瘍循環研究分野において発見された、血管内皮細胞が自ら産生する新規血管新生抑制因子 Vasohibin-1 (VASH1)とそのホモログ Vasohibin-2 (VASH2)についての解明が進んでいる。このうち VASH2 は、様々な癌細胞、とりわけ未分化な癌細胞ほど高発現し、腫瘍血管新生を促進するだけでなく、癌随伴線維芽細胞を増加させ、さらに癌細胞自身に作用して上皮間葉転換を促進するなど多彩な活性によって、癌の進展を促進することが明らかにされている。本研究は、ヒト胆管癌における VASH2 の発現とその意義を臨床病理学的に解析することを目的とする。

研究期間は西暦 2017 年 8 月(倫理委員会承認後)～ 2021 年 8 月を予定している。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

当院で外科的に腫瘍組織が摘出された肝門部胆管癌、および肝内胆管癌で、10%ホルマリン固定パラフィン包埋組織を用いて、VASH2 タンパク発現の有無・程度と臨床病理学的因子等の関連について検討する。検体には病理検体番号が付されているが、氏名や生年月日などの個人を特定しうる情報は記載されていない。

### 4. 外部への試料・情報の提供

該当なし

### 5. 研究組織

本学単独研究

### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：東北大学病院病理部 村上圭吾  
研究責任者：東北大学医学系研究科病理診断学分野 笹野 公伸

研究代表者：東北大学病院病理部 村上 圭吾

#### ◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

#### ※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

#### ◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

#### ※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合